

総合工学委員会総合工学企画分科会総合工学分野の教育小委員会  
(第25期・第3回) 議事要旨

1. 日時 令和4年12月27日(火) 19:00~21:00

2. 会場 Zoomを用いてのWeb開催

3. 出席者(敬称略) 小山田 耕二、玉田 薫、筑本 知子、伊藤 宏幸、萩原 一郎、岡本 正宏、黒岩 友樹(欠席者なし)

4. 議題

1) 今後のスケジュール

冒頭、委員長より、意思の表出の発出に向けたスケジュールが示され了承された。具体的には、2023年9月の意思の発出に向け、同年7月に公開シンポジウムの開催の予定を含むスケジュールについて意見交換し、確定した。また、査読プロセスに入る前に、分科会メンバーに内容を示し、了承を得ることに合意した。

2) 申出書案に関する意見交換

- 意志の表出として、提言、見解、報告といったカテゴリがあるが、今回は、見解として執筆する
- 想定読者について、意見交換し、大学FD担当部局、教育コンサルティング企業を含める。
- 従来の参照基準との関係については、多くの関係者の目に留まるように、日本学術会議HPのリストに加えてもらうことが望ましい。それが可能かどうか、執行部に確認する。

3) 委員提案のアイデアを説明した。

主なものは以下の通り

\* システム科学の考え方は重要(岡本)

\* 計算力学向け参照基準をベースにできる(萩原)

\* 総合工学は、それを標榜する具体的な学部または学科が存在しないという問題がある。25期における総合工学の定義は考えておきたい(小山田)

\* 分野間の共通点や違いを意識させる(玉田)

\* 社会と時間軸を共有する(玉田)

\* アウトプットからアウトカム志向にする(玉田)

\* 経産省発出の全ての職種に共通するスキルリストを意識する(黒岩)

\* 共創学部から大学院に進む場合、既存の工学系専攻にはなかなか合格できない(岡本)

\* 総合工学分野の研究で学位取得は難しい(伊藤)

「参照基準の目次案作成のために、今回説明された委員の意見を集約する」ことを委員長一任とする

4) 今後の予定

\* 次回委員会は、2023年1月中旬か下旬に開催する

\* 参照基準の目次案の確定が主な審議項目である